

平成24年4月17日

担当 第6学年 松本 寛

1 ねらい

地底の森ミュージアム・縄文の森広場での見学・体験学習を通して、歴史学習への興味・関心を高める。

2 評価

旧石器時代や縄文時代の遺跡に興味を持ち、施設内の展示物を熱心に見たり、勾玉作りの体験学習に意欲的に取り組むことができる。

3 学習活動について

社会科「縄文のむらから 米作りのくにへ」

- ・身近な地域にも歴史を学ぶことのできる貴重な遺跡があることを知り、見学や体験学習を通して歴史学習への興味・関心を高める。

4 事前学習

- ・縄文時代、弥生時代の人々の暮らしについて学習している。
- ・探検ノートをもとに、展示物について興味・関心を持っている。

5 当日の指導内容

①地底の森ミュージアム

- (1) 見学学習 学習ノートを活用し、クラスごとに館職員の説明を聞きながら学習する。

②縄文の森広場

- (1) 見学学習 探検シートを活用し、自由に復元住居・遺構表示等の野外展示及び館内の展示見学をする。
- (2) 体験学習 体験活動メニュー（団体用）の中から、全員で勾玉作りを実施する。

6 事後指導

分かったことや感想をノートなどにまとめる。

利用学習報告書

平成24年6月14日

担当 第6学年 松本 寛

1 事後指導について

(1) 実施日

平成24年4月26日(水)～5月2日(水)

(2) 主な内容

- ・社会科の授業で、見学したり体験したりしたことから分かったことや感想をまとめる。
- ・それぞれで頂いた学習ノートの答え合わせ。

(3) 送付する資料

児童生徒の学習後のまとめと感想

校外学習のまとめ 名前()

① 地底の森ミュージアム ② 縄文の森

1.

- 遺跡の中に、たき火のあとや、土器を作ったあとがあった。
- えものが取れないと、持ってきた干し肉を焼いて食べていた。
- 今の仙台よりも年平均7~8ほど低い。
- 夏と冬の気温の差が大きく、雨が少ない。
- 時代の変化で、人の顔の形などが、変わってくる。
- 石もたきわり、石器を作った。

2.

- たて穴住居は、以外に広がった。
- マンモスが縄文時代にいた。
- 勾玉は石でけずって形をととのえていた。
- 石器用の石は、以外にかたくはなさそうだった。

○感想(初めて分かったこと、驚いたこと、心に残ったことなど)

勾玉を作った時、初めて作るのが大変だと思いました。地底の森ミュージアムでは、人の顔の骨が、時代によって変化していくのがすごいと思いました。

校外学習のまとめ 名前()

① 縄文の森 ② 地底の森

1.

- 縄文の森広場があるところは山田/台遺跡。この遺跡はおよそ二万年くらい前むかしの遺跡です。
- 縄文時代は1000年くらい続いた。
- 山田/台から見つかっている家のあとはたて穴住居あと。
- 住居あとの中からは生活したあとが見つかった。
- 縄文人はくらしを土器でできる森などの環境を大七かにし、食べ物になるものはなんでも食べ、道具はこぼれるまで大事に使っていた。
- 家はくりたいという木でつくられている。

家のまわりには、ほしやまお設土器などがあった。

2.

- 2万年前の地層は現在の地面の5m下にある。
- 2万年前は旧石器時代と呼ばれていたものの直接的な祖先である新人が生まれていました。氷河期と呼ばれるようにとても寒い気候でした。海面は今より100m近く低くなり北海道は大陸と陸続きになっていました。
- シカなどは石を磨くくらいにいた。
- 土地はまわりよりは低く沼や湿地がたいへん多かった。

○感想(初めて分かったこと、驚いたこと、心に残ったことなど)

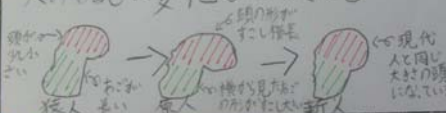
縄文の森でおきたことは家をくりたいという木でつくっていたというのと縄文時代は1000年くらい続いた。地底の森では2万年前の地層は現在の5m下にあることがわかりました。あとシカなどは石を磨くくらいにいたということがわかりました。

校外学習のまとめ 名前()

① 地底の森ミュージアム ② 縄文の森広場

① 地底の森ミュージアムのまとめ

- 木の根の化石は現在の地上より約5m下で発見された
- 木の根の化石以外にも、鹿のふん、たき火のあとなども発見された
- 猿人、原人、新人の頭の骨の形が猿人→原人→新人のじいんに変化している



② 縄文の森広場のまとめ

- 復元されたたて穴住居の中には、たき火のあとや、たくさん石があった
- 縄文時代は約1万年くらい続いた
- 縄文時代の人たちは、石で矢じりや石ぼうちゅうなどを作っていた

●感想(初めて分かったこと、驚いたこと、心に残ったことなど)

① 地底の森ミュージアム

- 人の骨などの化石は見たことがあつたけど、木の根の化石は初めて見ました。

② 縄文の森広場

- 勾玉作りで、時間がかかたので昔はもっと時間がかかたんだなと思いました。

校外学習のまとめ 名前()

① 地底の森ミュージアム ② 縄文の森広場

① 地底の森ミュージアム

1. 私が一番、地底の森ミュージアムで楽しかったのは常設展示2でみんなと石器時代の問題を解いたり、みてまわったりするのがおもしろかったです。なかでも一番印象に残ったのは、シカの体の大玉です。一番体の大玉シカは私の身長をこえる程度でとてもびっくりしました。また、いけばいいなと思いました。

② 縄文の森広場

2. 縄文の森広場ではまが玉作りが縄文時代など問題をいたり広場でお弁当を食べたりして楽しかったです。一回いったことはあるけどまた、ちがってみればとても楽しかったです。大人になってもいいなと思う所でした。

○感想(初めて分かったこと、驚いたこと、心に残ったことなど)

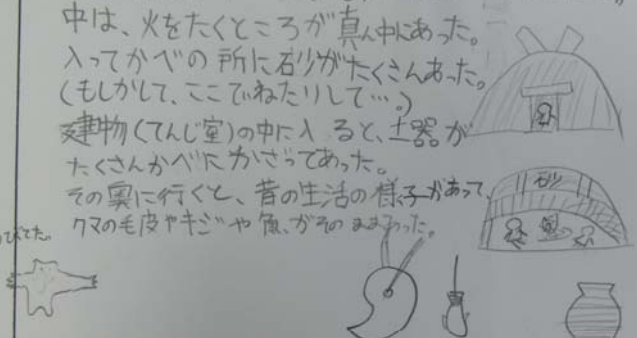
地底の森ミュージアムでは木の化石が残っているのにおどろきました。縄文の森では頭の骨におどろきました。いろいろなおどろきがあっておもしろかったです。

校外学習のまとめ 名前()

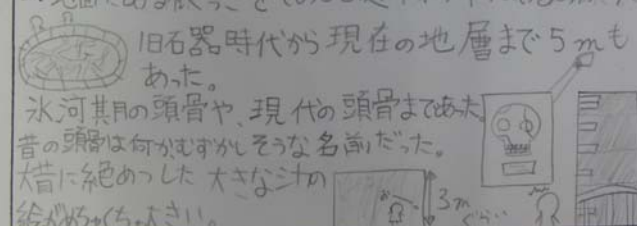
①「縄文の森広場」 ②「地底の森ミュージアム」

1. たて穴住居の中が何かを燃やしたニオイがした。中は、火をたくところが真ん中あたりにある。入ってかべの所に石がたくさんある。(もしかして、ここをねたりして...)

建物(てんじ堂)の中に入ると、土器がたくさんかべにかいてあった。その裏に行くと、昔の生活の様子があった。クマの毛皮やキノコや魚、がそのまわりの。



2. 地面にある根っこをそのまま建物の中にあるのがすごい。旧石器時代から現在の地層まで5mもあつた。氷河期の頭骨や、現代の頭骨まであつた。昔の頭骨は何かむすかしそうな名前だつた。昔に絶えつた大きなシカの骨がほつちまわつた。



〇感想(初めて知つたこと、驚いたこと、心に残つたことなど)

キノコや魚、クマの毛皮がリアルすぎる!

木の根は、北海道の北にあるトシザワラウヒがなせ! 仙台にあるのかな?

校外学習のまとめ 名前()

①「縄文の森広場」 ②「地底の森ミュージアム」

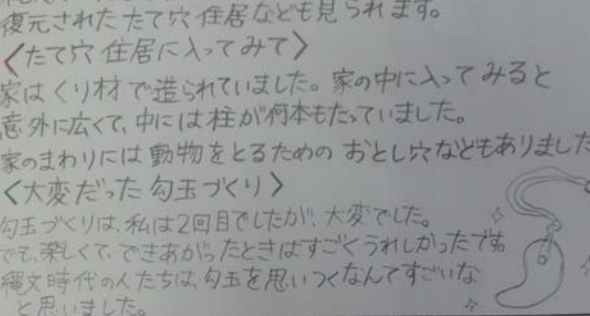
1. 「縄文の森広場」はどんなところ? 縄文人のくらしのあとが見つかった山田上/台遺跡。復元されたたて穴住居なども見られます。

〈たて穴住居に入ってみて〉

家はくり材で造られていました。家の中に入ってみると意外に広くて、中には柱が何本もたててありました。家のまわりには動物をとるためのおとし穴などもありました。

〈大変だった勾玉づくり〉

勾玉づくりは、私は2回目でしたが、大変でした。でも楽しくて、できあがらなうときはすごくうれしかったです。縄文時代の人は勾玉を思いつくなんてすごいなと思いました。



2. 「地底の森ミュージアム」はどんな場所? 富沢遺跡として、地面の下にいろいろな時代の生活のあとがうずもれている所。この博物館の場所からは、富沢遺跡では最も古い旧石器時代のころのあとが見つかった。

〈地下展示室には...〉

森のあと、生活のあとなどが当時の様子そのままのこつていて、当時の人の生活がよくわかりました。たき火のあと、石のかけら、炭のかけらなどがありました。

〇感想(初めて知つたこと、驚いたこと、心に残つたことなど)

縄文の森広場では、昔のたて穴住居に入れてよかったです。勾玉づくりも楽しかったです。

地底の森ミュージアムでは、旧石器時代の今から23万年前の生活や自然のすがたがわかってよかったです。これからもぜひ楽しんで、時間旅行をしたみたいでした。もっと歴史の勉強をがんばりたいです。